

道内学生の製品化・事業化アイディア実現支援事業
第 7 回学生プレゼンテーション 実施要領

- 開催日 令和 6 年 1 1 月 2 0 日（水） 1 3 : 3 0 ~ 1 6 : 0 0
- 場 所 ニューオータニイン札幌 2 階 鶴の間 （札幌市中央区北 2 条西 1 丁目）
- 発表者 4 校／7 グループ ※別紙 1 「発表アイディア一覧」を参照願います
- 発 表
 - ・学生は、PowerPoint を使用したプレゼンテーションを行います。
 - ・ 1 グループ発表毎に質疑応答を行います。
 - ・ 1 グループの割当時間は、自己紹介含め 1 0 分と致します。質疑応答は 2 分です。
- 支援申込
 - ・当日、ご参加者の企業・金融機関に「面談申込シート」を配布します。
 - ・全てのプレゼン終了後、面談申込シートを回収します。
 - ※当日提出が難しい場合は、後日で問題ございません。
- 支援に向けた発表者（学生）との打合せ
 - ・支援申出側（企業・金融機関）と発表者（学生グループ）の面談は、事務局がセッティングします。（学生グループの意向により、面談に応じて頂けない場合があります）
- 注意事項
 - ・学生が発表する技術・アイディアの「盗用」は固く禁じます。
 - ・学生が発表する技術・アイディアに関する知的財産権（登録等を出願する権利を含む）等は、発表者に帰属します。（別紙 2 「参加規約」をご確認ください）

<タイムスケジュール>

1 3 : 3 0	開会・主催者挨拶	
1 3 : 4 0	当日の進行説明、支援申出方法の説明	
1 3 : 4 5	①室蘭工業大学	自律走行レーザーロボットで、有機農業の未来を切り拓くソリューション
1 4 : 0 0	②北海道科学大学	R F I D 技術による駐車場管理
1 4 : 1 5	③北海学園大学	サクラ天狗巣病の早期発見デバイスの開発
1 4 : 3 0	④北海学園大学	買い物アシストアプリ「カゴの眼」
1 4 : 4 5	～ 休憩 ～	
1 4 : 5 5	⑤旭川工業高等専門学校	縫製工場の生産性向上に向けた生地判定アプリの開発（0L）
1 5 : 1 0	⑥室蘭工業大学 大学院	熱電変換素子を用いた融雪道路の運転費用低コスト化
1 5 : 2 5	⑦北海道大学 大学院	Beeber Global ～地域課題解決と多文化共生のためのグローバルスキルシェアコミュニティ～
1 6 : 0 0	閉会	

～終了後、写真撮影及び交流会開催予定～

※プレゼンテーションの順番が変更となる場合もございますのでご了承ください。